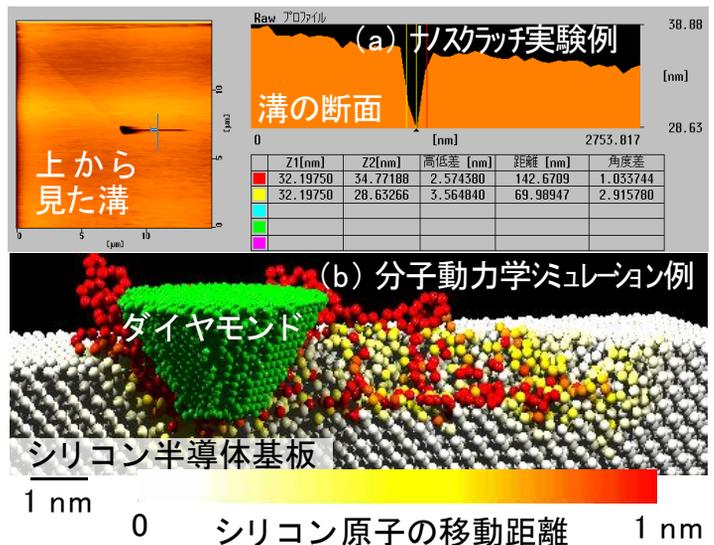


摩擦や表面加工時の現象を原子スケールで科学し役立てる

自動車用部品の摩擦・摩耗現象や、ナノメートル ($\text{nm} = 10^{-9}\text{m}$) レベルで表面の平坦さが求められている半導体表面の加工メカニズムを、分子シミュレーションとナノメートルスケールの実験とを組み合わせ、明らかにしたり、そこから新たな表面機能を見出したりすることで、新製品や新技術の開発に役立てています。



キーワード エネルギー散逸、表面微細構造、原子間力顕微鏡

分野 摩擦・摩耗・潤滑、精密加工、計算物理